

研究部会報告



●政策科学●

●第8回

日時：10月27日 14:00～17:00 場所：三菱総合研究所

出席者：12名 テーマ：「失敗の本質」について 講師：杉之尾孝生(防衛大学校)

日本人にとって、戦略的レベルにおける思考は不得手な分野であるとの論議がなされてきた。戦略上の失敗は戦術では補い得ないのは事実であり、この意味で昨今の論議を大いに高める必要がある。戦略論、情報およびコミュニケーションと意思決定、政策実施過程の問題等を考えるに当たって、多くの示唆を与える「失敗の本質」の著者をむかえて、この図書の作成にいたる過程と失敗の事例、内情をお話いただいた。戦史にたいする取り組み態度、その学問的側面、学問的でない側面、事例としてとりあげるべき研究対象はそれぞれの立場ごとに使い分けることが重要であること(たとえば、野戦軍の指揮官には成功例、大本営の参謀には失敗例が適している。)をはじめ、主として戦史に関する活発な討論を行なった。

●第9回

日時：11月17日(土)14:00～17:00 場所：三菱総合研究所

出席者：12名 テーマ：中国の旅から帰って——ポリシーサイエンス的報告の試み 講師：上田亀之助(上田イノベーション研究所)

中国をまな板にのせ、その構造や構成要素を観察・分析して、われわれのとるべき態度、方向について考察した。気候・風土の特色、漢字にまつわる話題、同じ仏教をもちながら、中国とインドには大きな差異があること等を指摘し、商売相手としての可能性はあるものの、日本人の思考パターンが通用しない点、インフラストラクチャーが未整備であることを十分検討して、各論としてとりくむことが必要であることを確認した。

●信頼性・保安全性●

●第16回

日時：11月17日(土)、場所：東京工業大学、出席者：11名

テーマ：「国鉄の電気機関車の信頼性解析」講師：有山勝恵(鉄道技術研究所)

内容：昭和58年度「鉄道車両の保守管理に関する研究」報告書をもとに、昭和55年～57年度の車両検修統計データの解析結果が報告された。車両の運用と保全状況からマルコフ再生型保全モデルを構築した過程、ならびに寿命分布としてワイブル分布を仮定した故障度によるパラメータ推定方法について解説がなされた。区所別、部品別の形状母数の推定結果はたいへん興味深く、これらの解釈について活発な議論がかわされた。

ひきつづき、鈴木、宮川、田中の各氏より文献紹介が行なわれた。

●交通問題●

●第8回

日時：59年11月21日(水)18:00～20:00 場所：東洋経済新報社ビル(日本橋)

テーマ：「小田急ロマンスカーについて」出席者：13名 講師：岩崎達男運輸部長(小田急電鉄株式会社)

小田急ロマンスカーは全席指定列車であり、またその車両はブルーリボン賞を授賞するなど評価も高い。さらに日東、森永の女性係員を乗務させ、紅茶やおしぼりのサービス、ドア扱い等を任せており、客の評判もよい。そこで会社の歴史や女性係員を乗務させるにいたったいきさつ等の話をうかがい、特急列車としての採算がとれているのか等の質問があり、活発な討論を行なった。

●待ち行列●

●第6回

日時：1984年11月17日(土)14:00～17:00 場所：東京工業大学(情報科学科会議室)、出席者：26名 テーマと講師：

●G6-1 Analysis of Flexible Manufacturing Systems with Priority Scheduling (P.Schweitzer Univ. of Rochester) — 工程管理においてみられる閉待ち行列網モデルで、処理を非割込み優先権方式または先着順とするときの近似解析。(平均値解析)

●Q6-2 ある種の Storage Process について(土井誠・日本工大) — 入力と出力の2つの位相があり、位相の切替はあらかじめ設定されている。その他に大規模な出力が発生する。この在庫過程の定常分布を解析。

●Q6-3 QNA のある改良について(吉野 秀明・東京工大) — ベル研究所の待ち行列網解析プログラム QNA で用いられている $GI/G/S$ モデルの平均待ち時間の近似式にたいする改良式の提案。